

探鳥会報告 2015

【目的】 野鳥の生息状況を調査する

【調査地域】 裏磐梯地区

【結果・考察】

冬



年末まで確認できていたベニヒワやレンジャクの群れは、爆弾低気圧で一旦姿消したが、1月以降ベニヒワ100羽以上の群れなども確認できた。彼らは2月半ばまではハンノキに着いていたが、それ以降はカラマツに着き始め、五色沼、中瀬沼など広くベニヒワの群れが確認できた。山の実が少ない割に冬鳥は普通に見られた。

春・夏

夏鳥は例年通りに入ってきて、連休明けに曾原近辺でミサゴのホバリングを確認することができた。毎年ミサゴの確認はあるが、秋元湖の流れ山の上で営巣を始め、3、4羽の幼鳥の繁殖に成功したことを確認した。また、檜原湖の奥でもミサゴの繁殖を確認した。ミサゴの営巣の確認は裏磐梯では初めて。ビデオも撮影済み。





6月6日に裏磐梯では初見のブッポウソウを確認した。数年後には営巣が確認できる可能性あり、楽しみである。

一方、オオジシギについては、今年は檜原湖東側では飛翔、繁殖とも確認ができなかった。檜原湖西岸の細野地区では、ひとつがいを確認することができたが、裏磐梯の自然環境の変化によりオオジ

シギは姿を消しつつある。

今年もキバシリの営巣が確認できた。中瀬沼にて6月29日に巣立ちを確認し、写真撮影もできた。キバシリは裏磐梯にかなり定着してきた。



昨年はサンコウチョウのさえずりを確認したが、今年の確認はなかった。

全般的に夏鳥は例年通りであった。

秋・冬

花の咲く時期に気候が穏やかだったため、木の実がたわわに実ったが、暖冬傾向のため、冬鳥の飛来は一ヶ月ほどずれ込んでいるようである。

12月1日にガビチョウ2羽を確認。数年前から声は聞かれていたが、裏磐梯では初見。

【概要】

(1) 調査実施日

第1回	平成27年	3月16日
第2回	平成27年	4月13日
第3回	平成27年	4月22日
第4回	平成27年	5月13日
第5回	平成27年	6月10日
第6回	平成27年	7月 8日
第7回	平成27年	8月11日
第8回	平成27年	9月15日
第9回	平成27年	10月21日
第10回	平成27年	11月11日
第11回	平成27年	12月 9日

(2) 調査者

裏磐梯エナガの会

以上